

(科目コード : 2006920128AA)

【改訂】第9版(2016-03-07)

【科目】経済思想

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】選択 【学期・単位数】後期・2単位

【対象学科・専攻】生産システム,環境 1年

【担当教員】加藤 健

【授業目標】

歴史的バックグラウンドと経済思想の展開について理解することができる。
経済学が扱ってきたテーマの多様性について理解することができる。
経済学者が取り上げた様々な問題を意味あるものとして捉え直すことができる。
経済思想の歴史を学ぶことを通して、現代の「経済学」の前提となる見方を問い返すことができる。

【教育方針・授業概要】

- ・本科目の総授業時間数は22.5時間である。
- ・人間が行う経済活動の在り方は時代や状況によって様々に変化するが、人間の諸行為を認識する学問としての経済学もまた現実を反映することによって変化していく。講義では、経済学者が実際に取り組んだテーマや問題関心などを振り返ることによって、社会を認識する経済思想の多様な側面を考察しよう。
- ・経済学における「人間の経済活動の在り方」や「社会の在り方」に関する議論を中心に検討する。

【教科書・教材・参考書等】

教科書は特に用いない。
原典資料のプリントを適宜配布する。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式で進める。
授業用プリントを適宜配布する。
講義の内容に基づいた小レポートを作成してもらう。

【メッセージ】

講義中に取り上げた論点について、講義時間以外にも原典資料や関連文献等を活用し、皆さん自身で積極的に考察を深めてほしい。

【成績評価方法】

[後期]期末試験：80%、課題点(小レポート課題 および)：20%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	経済学の様々な主題を整理し、位置づけ、理解することができる。	50 %	定期試験40%、小レポート10%の割合で評価する。
2	歴史的バックグラウンドと経済思想の展開について理解することができる。	50 %	定期試験40%、小レポート10%の割合で評価する。

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、多種多様な人間文化と社会生活を理解するとともに、ものごとに対して多角的観点から考察できる力を涵養する

【授業計画】(経済思想)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	経済思想と経済学		講義内容の復習
第2回	市民社会から文明社会へ	ロック、ヒュームなど		講義内容の復習
第3回	再生産秩序と自由：重農主義	ケネーなど		講義内容の復習
第4回～第5回	自然的自由の経済思想	スミスなど		講義内容の復習
第6回	市場社会における貧困と過剰	マルサスなど		講義内容の復習
第7回	市場経済の構造と発展モデル	リカードなど	小レポート課題	講義内容の復習
第8回	功利主義的統治と経済的自由主義	ベンサム、J.S.ミルなど		講義内容の復習
第9回	社会主義思想	ユートピア社会主義、マルクス社会主義、フェビアン社会主義など		講義内容の復習
第10回	社会政策の経済思想	シュモラーなど		講義内容の復習
第11回	限界革命	ジェヴォンズ、メンガー、ワルラスなど		講義内容の復習
第12回	市場と組織の経済学	マーシャルなど		講義内容の復習
第13回	ケンブリッジの経済思想	ケインズなど		講義内容の復習
第14回	動態的市場経済の思想	シュンペーターなど		講義内容の復習
第15回	制度進化の経済思想	ヴェブレン、コモンスなど	小レポート課題	講義内容の復習